

Atsugi

広報あつぎ ㊦

Public Relations Paper Atsugi City

特別号 厚木市 2023
事業と予算のあらまし



2023年度の目玉事業を一挙に紹介

「厚木愛」あふれるまちへ

2023年度 施政方針要約

市議会第4回会議の初日、市政運営の考え方や重点的に取り組む施策を表明しました。

骨格予算として編成した当初予算に、政策的経費を計上した補正予算第2号を加え、総額1645億2581万7千円の予算が成立しました。



厚木市長
山口 貴裕



グラウンド・ゴルフを楽しむ皆さんと

2月に第6代厚木市長に就任し、責任の重さをひしひしと感じています。厚木の輝かしい未来に向け、私たちの手でしっかりとこのまちを築き上げていかなければならないと決意したところです。

「未来に何かを起こすには、勇気が必要とする。努力が必要とする。信念を必要とする。その場しのぎの仕事に身を任せていたのでは、未来はつukれない」。私が尊敬してやまないピーター・ドラッカーの言葉です。このまちに眠っているたくさんの可能性を掘り起こし、未来へ向けて、魅力あふれるまちとして磨き上げるという熱い思いを持ち、市政に取り組んでいきます。

県央姉妹都市構想と八つの政策

第一に推進していくのが、市民

の皆さまに約束した「県央姉妹都市構想」と「まずはやりたい八つの政策」です。

少子高齢化が進み、人口減少が顕著となってきています。基礎自治体は都市間協調により、これまで以上に周辺自治体との連携を強化していく必要があります。「県央姉妹都市構想」では伊勢原市、秦野市、愛川町、清川村との連携を深め、地域の宝である大山・丹沢を核とした観光・農業の振興、厚木秦野道路の早期整備などを推進します。

重点的に取り組む八つの政策では、まず子育てや教育に関する施策として、小・中学校給食費無償化、18歳までの医療費無償化、小・中学校適正規模、統廃合の再検討を掲げました。高齢者をはじめとした福祉の充実に向けては、かなちゃん手形購入の個人負担の軽減



観光地として魅力づくりを進める不動尻

や、コミュニティ交通の推進などに取り組みます。市街地の整備に向けては、中心市街地を「生まれ変わらせる」ため、本厚木駅北口や中町第2-2地区などの整備を面として再検討し、県央の雄都として、機能的なデザインによる街並みを構築します。

農業振興に向けては、地場農畜産物を学校給食へ積極的に取り入れるなど、地産地消の取り組みを進めます。スポーツや文化芸術の振興に向けては、イベントや公演などの開催や施設の整備に取り組み、スポーツや文化芸術の聖地づくりを進めます。

これらの政策を推進し、持続的に発展し続けるためには、強固な財政基盤の構築が必要です。多くの優良な企業が集積していることによる強い財政力をさらに盤石にするため、全力で行財政改革に取

り組み、効率の良い行政基盤を確立します。

一人一人が誇りを持つ厚木へ

市政運営のキーワードは「厚木愛炸裂^{さくれつ}」です。魅力あふれる厚木を全国、全世界へ向けて発信していきたいという思いを込めています。この「厚木愛」を市民の皆さまと共有し、全国から憧れを抱かれる魅力あふれるまちを実現するため、補正予算は、新たな重点施策を中心に編成しました。

厚木の底力を発揮することで、市民の皆さま一人一人が誇りを持ち、「住みたい、住み続けたい」と思える、厚木愛に満ち

あふれた新たなあつぎの実現を目指して取り組んでいきます。

全文は市ホームページに掲載



子どもたちが笑顔で暮らせるまちに

事業と予算のあらまし

2023年度予算	5
一般会計	6
1 県央姉妹都市構想の実現	8
2 子育て・教育で選ばれるまちの実現	10
3 福祉の充実による住みやすいまちの実現	11
4 持続可能な厚木の農業の実現	12
5 時代と市民に寄り添う行政運営の実現	13
6 生まれ変わる中心市街地の実現	14
7 スポーツ・文化芸術・歴史の聖地の実現	14
8 強い財政力をいかしたまちの実現	15
9 心豊かで安心・安全に暮らせる持続可能なまちの実現	16
みんなに届け厚木愛	18

一般会計当初予算は骨格予算として編成し、補正予算第2号（6月期補正）では新たな重点施策をはじめとする政策的経費を中心に計上しました。本誌では、当初予算に補正予算第2号（6月期補正）の内容を加え、2023年度本予算としての内容を掲載しています。特別会計は、当初予算に年間の所要額を計上しています。

2023年度 予算

問 財政課 ☎225-2170

予算 過去最大

総額 **1645億2581万7千円**
(前年度比 3.4%増)

一般会計 過去最大

総額 **971億6406万5千円**
(前年度比 3.8%増)

6・7
ページへ

内訳 当初 923億円
補正2号 48億6406万5千円

特別会計

総額 **443億9156万円**
(前年度比 2.7%増)

公営企業会計

総額 **229億7019万2千円**
(前年度比 2.8%増)

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て、目的に応じて使う会計です。市には四つの特別会計があります。

公共用地取得事業特別会計

14億3556万円 (前年度比9.4%減)
公共用地の先行取得など

後期高齢者医療事業特別会計

36億4300万円 (前年度比2.4%増)
後期高齢者への医療給付に必要な保険料の徴収など

国民健康保険事業特別会計

220億7800万円 (前年度比0.6%増)
国民健康保険料が主な財源で、被保険者が病気やけがをした場合の給付など

介護保険事業特別会計

172億3500万円 (前年度比6.8%増)
介護保険料が主な財源で、被保険者が介護サービスを利用した場合の給付など

公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入で運営している事業の会計です。市には二つの公営企業会計があります。

病院事業会計

市立病院の運営

●収益的収支(前年度比)
収益 118億5700万円(1.0%増)
費用 117億9500万円(2.1%増)

●資本的収支(前年度比)
収入 10億7600万円(34.8%増)
支出 16億600万円(29.8%増)

公共下水道事業会計

下水道の建設や維持管理費

●収益的収支(前年度比)
収益 65億2536万4千円(1.1%増)
費用 65億1254万6千円(5.8%増)

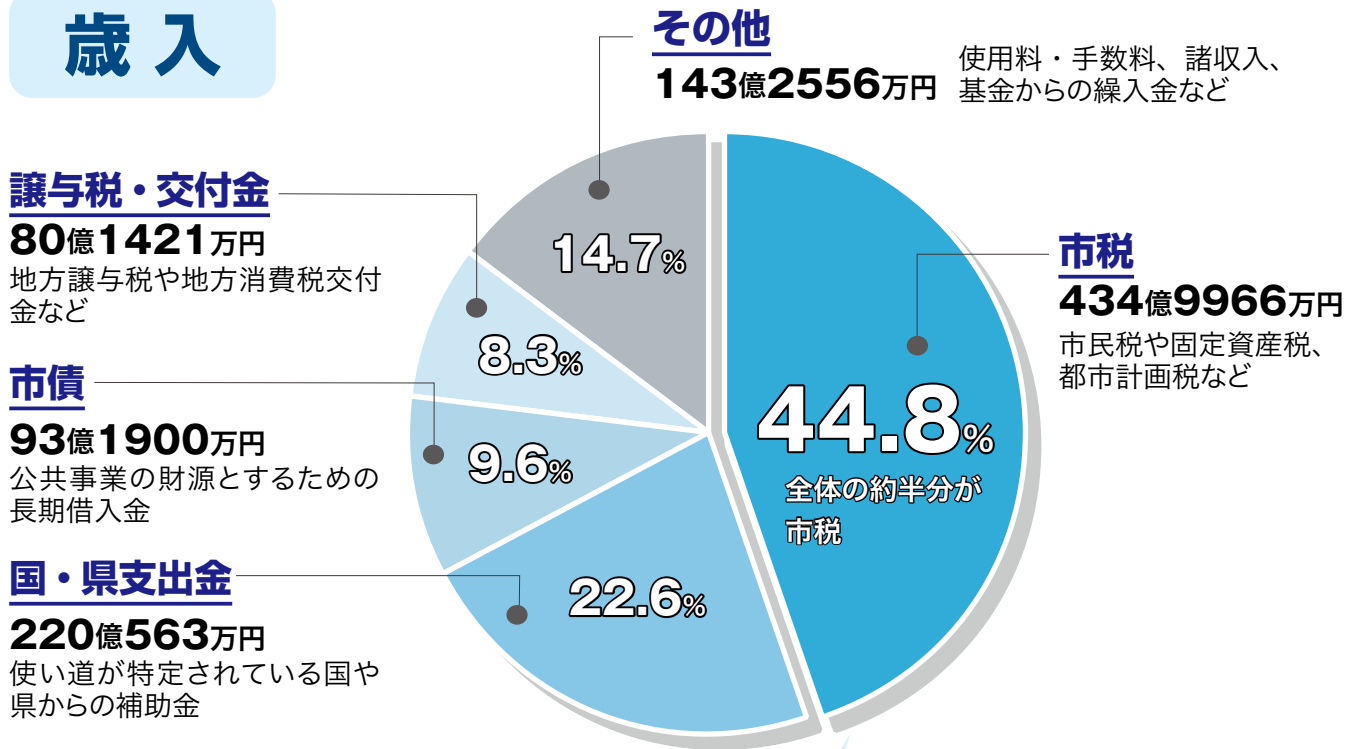
●資本的収支(前年度比)
収入 18億7759万4千円(11.3%減)
支出 30億5664万6千円(9.8%減)

一般会計

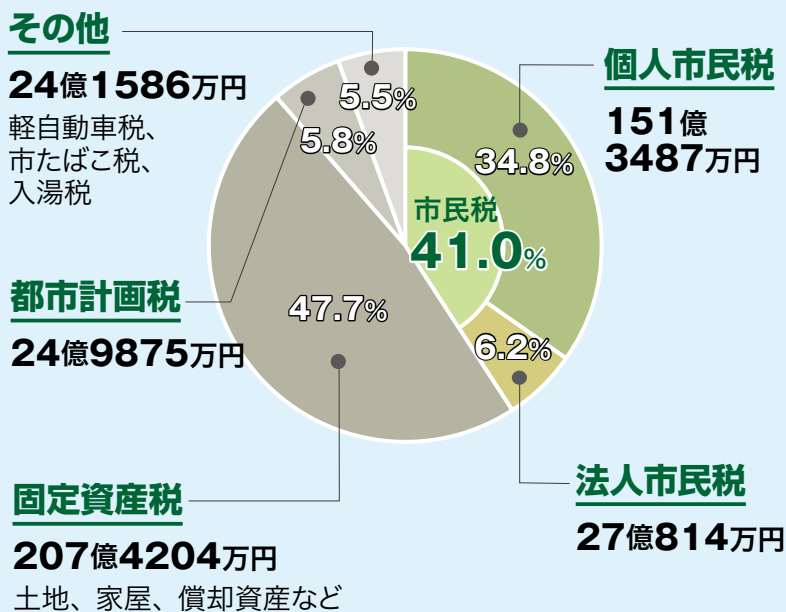
総額971億6406万円

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。

歳入



《市税収入の内訳》



貯金と借金

貯金(基金)

年度間の財源調整をする財政調整基金の他、教育、文化振興、災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

基金の合計額

279億9202万円
(23年度末見込み額)

借金(市債)

学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入)を発行します。

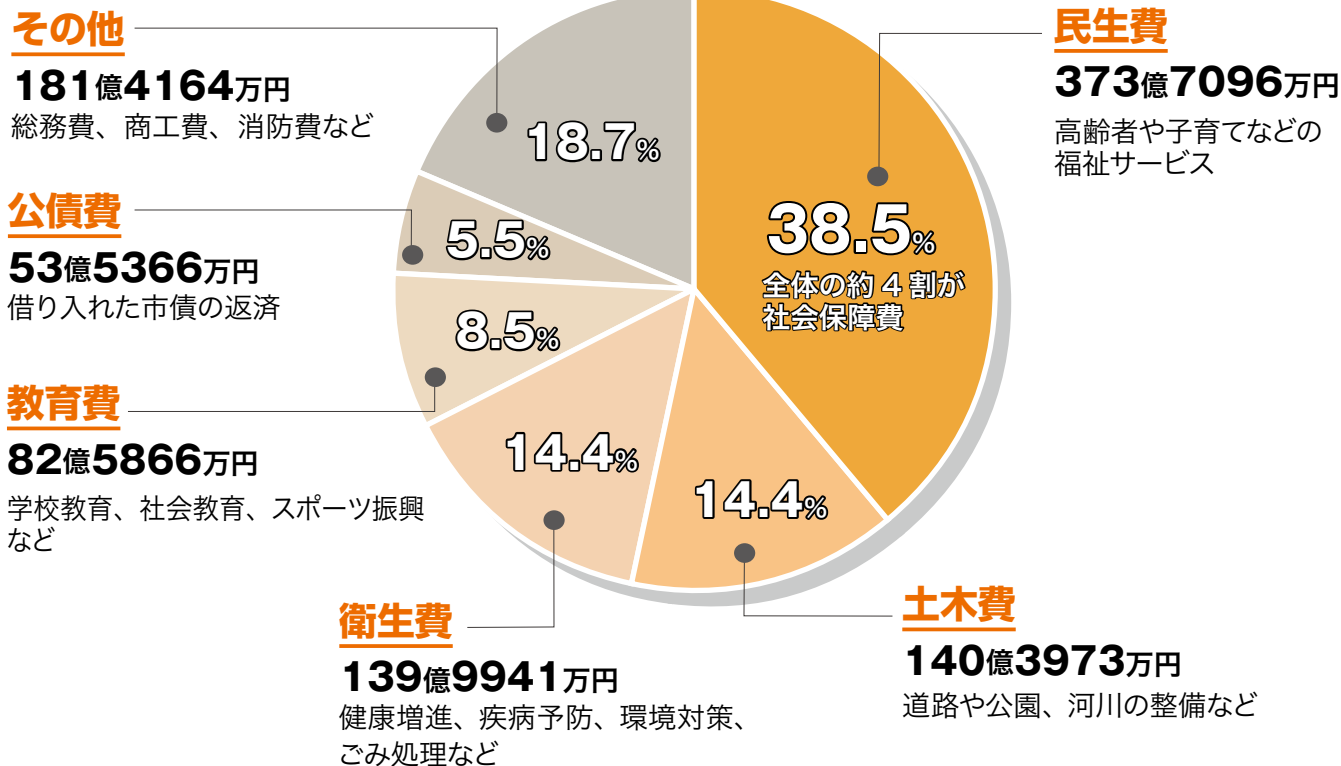
市債の残高

675億8589万円
(23年度末見込み額)

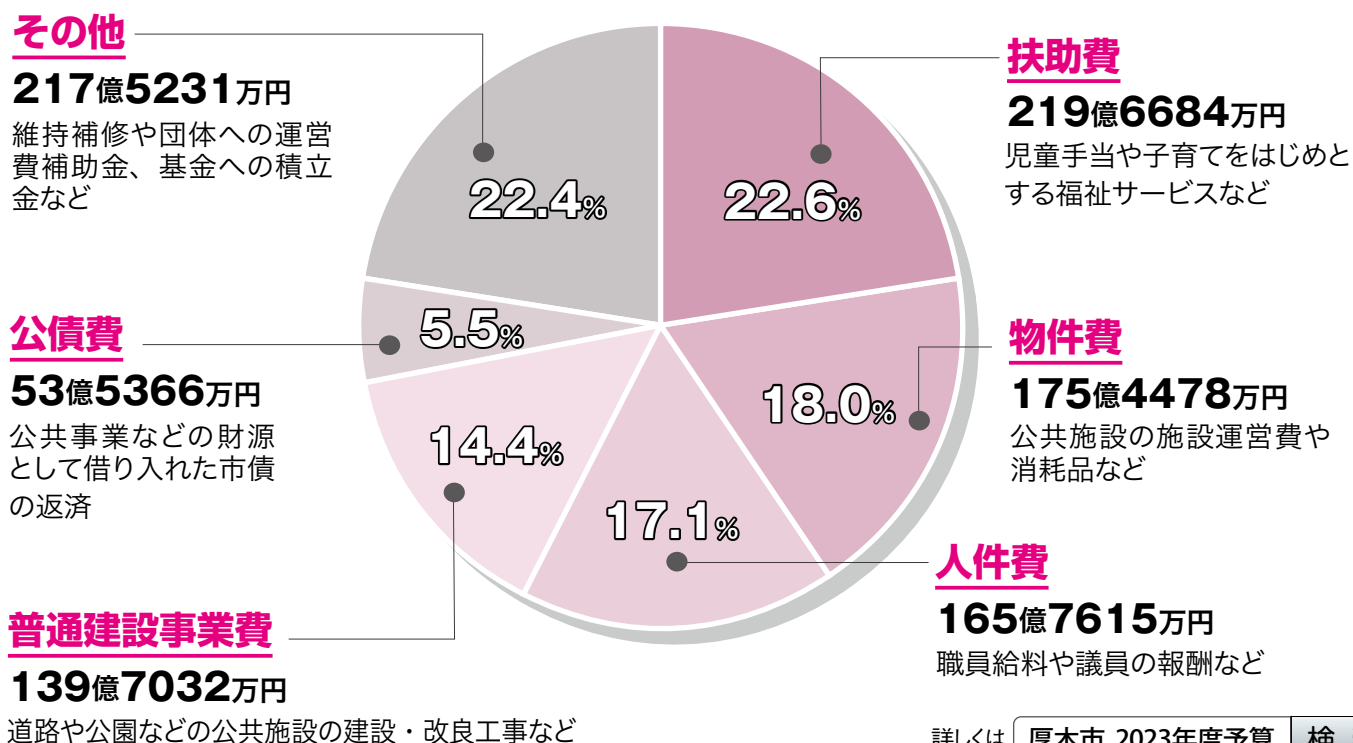
歳出

どんなことに使われている？

目的別 福祉や教育など、行政の目的に着目した歳出の分類



性質別 人件費や扶助費など、経費の性質に着目した歳出の分類



詳しくは

1 県央姉妹都市構想の実現

さらなる都市間協調を



県央姉妹都市構想とは

秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村との連携をこれまで以上に高め、大山・丹沢を核とした観光・農業の振興や、厚木秦野道路の早期整備などを一体となって進める構想

- 3市1町1村の豊富な観光資源を活用
丹沢、大山、七沢・飯山、ヤビツ峠、宮ヶ瀬など
- 丹沢山麓の周辺地域で連携し、魅力ある強いエリアに

周辺市町村と一体となった観光推進

広域連携観光推進事業 拡充

316万円

観光振興課

「丹沢・大山・七沢・飯山・宮ヶ瀬地区の観光名所の一体化」を確立し、一つのエリアとして楽しめるよう5市町村連携による観光開発を実施します。

- 5市町村周遊観光ツアー
5市町村の観光資源を巡るツアーを実施
- 5市町村ガストロノミー・ツーリズム
多彩な食を、歴史・文化・風土と共に発信



☎観光振興課 ☎225-2820

豊かな自然を生かした観光地に

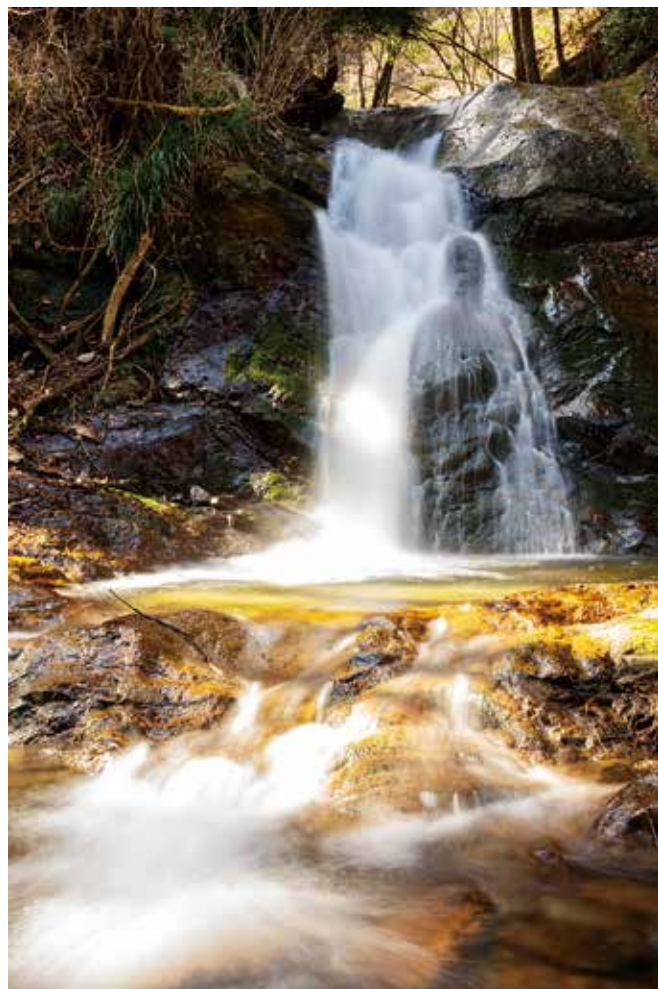
不動産魅力づくり 促進事業

新規

1250万円

観光振興課

不動産周辺のハイカーの受け入れ環境を保全するとともに、周辺の滝を情報発信し、観光地としての魅力を高め誘客を促進します。



厚木の魅力を広く発信

魅力発信事業

新規

2396万円

広報課

市の魅力や施策を広く周知するため、PR動画の作成やSNS広告の掲載、市ホームページの拡充など、効果的な情報発信に取り組みます。

●PR動画作成

市の施策や魅力をPRする動画を、ドローンなどを活用して作成

●市ホームページの拡充

トップページの見直しや、子育て・イベント・SDGsなどの特設サイトを構築

●広告事業

民間ホームページや公共交通機関で市の魅力をPRする広告を展開



niceatsugi



2 子育て・教育で選ばれるまちの実現

子どもたちを健やかに育む

18歳まで医療費無料に

子ども医療費 助成事業

拡充

7億7946万円 子育て給付課

子どもたちの健全な育成を支援し、子育て世帯の負担を軽減するため、中学校卒業までとしている助成対象児童の年齢を、18歳までに拡大します。

- 新たに約5500人が助成対象に
- 10月診療分以降の医療費自己負担額を助成



給食費の負担軽減に向けて

小中学校学校給食費 負担軽減推進事業

新規

98万円

学校給食課

学校給食費の無償化に向けて、市民への意向調査を実施します。



子どもたちが笑顔で暮らすために

子どものつながりの場 づくり事業補助金

新規

125万円

子育て支援センター

学習支援やフードパントリー、こども食堂など、子どものつながりの場の提供や生活支援をする団体の活動経費の一部を補助します（上限10万円）。

3 福祉の充実による住みやすいまちの実現

誰もが暮らしやすいまちに

バスやタクシーの助成で気軽に外出を

高齢者外出支援事業

拡充

8233万円

地域包括ケア推進課

高齢者の移動手段を確保し、外出機会の増加を促進する事業を拡充。高齢者タクシー利用助成の助成額や対象を拡大し、かなちゃん手形購入費助成額を増額します。

- 高齢者バス割引乗車券(かなちゃん手形)購入費助成
12月に販売される半年券の購入費助成額を2400円から3900円に増額

- 高齢者タクシー利用助成(12月から)

対象 **現在** 85歳以上の方または介護認定4・5の方

拡大後 70~84歳で自動車運転免許を有しない方を追加

交付 **現在** 1枚400円のチケットを1カ月1枚交付

拡大後 1枚400円のチケットを1カ月4枚交付

※要件あり



医療用ウィッグなどの購入費を助成

がん患者医療用補整具 購入等助成金

新規

350万円

健康づくり課

がん治療による外見の変化に伴う苦痛を和らげるため、医療保険適用外の医療用ウィッグなどの補整具の購入費を助成します(上限5万円、最大10万円)。



負担を抱えた子どもたちを支援

ヤングケアラー支援 体制等強化事業

新規

1078万円

家庭相談課

ヤングケアラー・コーディネーターを配置するとともに、こども家庭センターの設置(2024年度予定)に向けた準備を開始します。

4 持続可能な厚木の農業の実現

地産地消を推進し厚木の農業を守る

地場産の米や野菜を給食に

学校給食食育推進事業 新規

544 万円

学校給食課

子どもたちが厚木産の米や農産物を味わう機会を増やし、食への関心を高めるため、小・中学校の給食への地場農産物の使用を拡大し、食育を推進します。

- 9月から月に1回「あつぎ産米」による米飯給食を実施
- 献立に地場農産物を取り入れる日「パクパクあつぎ産デー」を拡大
実施回数を月3回程度から月5回程度に増加



厚木独自の農産物ブランド化を推進

農産物ブランド化推進事業 交付金

新規

1000万円

農業政策課

新しい農産物の厚木ブランド創設のため、市の新たな特産品の調査・研究事業に交付金を交付します（上限500万円）。



農業と福祉の連携を強化

農福連携 推進事業

111万円

農業政策課

農福連携に取り組む農業者に対し、福祉事業者に支払う作業報酬などの経費の一部を支援。農福連携の取り組みを推進します。

5 時代と市民に寄り添う行政運営の実現

より便利な市役所へ

コンビニ交付できる証明書を追加

自動交付機・コンビニ交付システム改修事業

新規

2750万円

市民課

マイナンバーカードを利用した住民票などのコンビニ交付に、戸籍謄本・抄本と戸籍の付票を追加。市役所に来なくても各種証明書が取得できるよう、利便性を向上します。

●コンビニ交付ができる証明書

現在 住民票の写し、印鑑登録証明書

拡大後 戸籍謄本・抄本、戸籍の付票を追加



窓口での負担や手間を減らす

総合窓口整備事業

拡充

8006万円

市民課

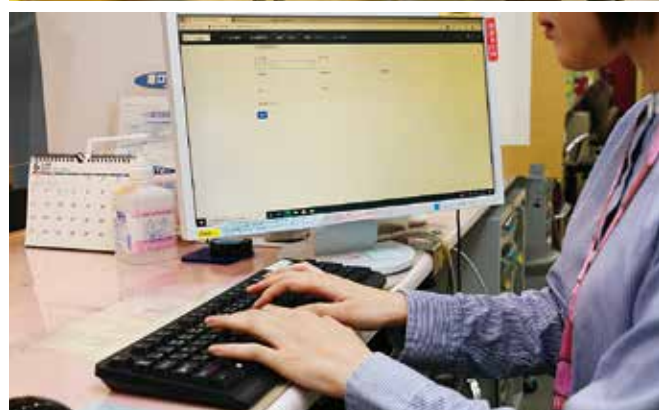
ワンストップ窓口の実現に向け、来庁者と職員双方の「手間・時間・負担」を減らし、市民サービスの向上と事務の効率化のために「市民窓口支援システム」を導入します。

●「誰もが楽に、分かりやすく、安心して利用できる窓口」の実現を目指して

書かない窓口…申請書の記載項目の自動印字

迷わない窓口…ライフイベントに関連する手続きの案内リストを作成

言わない窓口…関係部署間で手続き状況などを共有



6 生まれ変わる中心市街地の実現

中心市街地を生まれ変わらせる

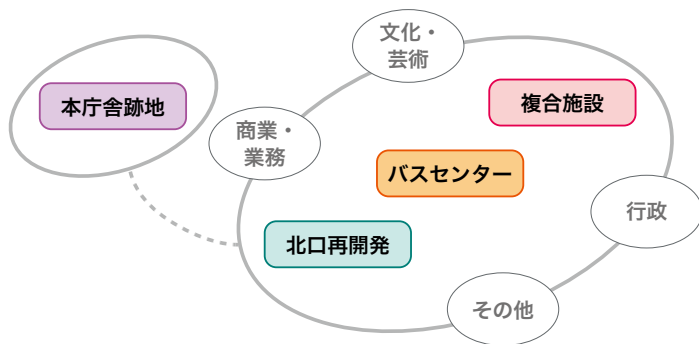
魅力あふれる厚木の玄関口に

本厚木駅周辺整備関連事業

19億6680万円

市街地整備課・道路整備課・
青少年課・中央図書館・行政経営課

本厚木駅北口周辺と中町第2-2地区を面として捉え、本庁舎跡地の有効活用も見据えながら、一体的かつデザイン・機能性に優れた街並みに再整備するための検討をします。



7 スポーツ・文化芸術・歴史の聖地の

市民が誇りを持てるまちへ

スポーツのまち厚木へ

スポーツの聖地検討事業 新規

1000万円

スポーツ推進課

スポーツの聖地となる施設の整備を目指し、新規施設や既存施設のリニューアルなど整備の方向性を調査。規模やコストなど、検討の基礎データをまとめます。



市街地整備課 ☎225-2470 道路整備課 ☎225-2311 青少年課 ☎225-2581 中央図書館 ☎225-2570 行政経営課 ☎225-2099

8 強い財政力をいかしたまちの実現

持続可能な財政基盤を確立

産業用地の創出と企業誘致に向けて

酒井土地区画整理 推進事業

5億5000万円

まちづくり推進課

2024年度の整備完了を目指し、土地区画整理組合を支援。地区周辺の関連道路、排水路を整備します。



森の里東土地区画整理 推進事業

6146万円

まちづくり推進課

2023年度のC工区整備完了・立地企業の操業を目指して、土地区画整理組合を支援。地区周辺の関連道路、排水路を整備します。



A・B工区は整備完了

実現

厚木の文化芸術を発信

文化芸術発信強化事業

新規

550万円

文化生涯学習課

文化芸術の聖地に向けて発信を強化。文化芸術活動の充実と振興に向けた環境整備を進めます。



9 心豊かで安心・安全に暮らせる 持続可能なまちの実現

ずっと住みよいまちであり続けるために

けがから身を守るために

自転車ヘルメット 購入助成事業

拡充

517万円

交通安全課

ヘルメット着用の努力義務化に伴い、助成額を1000円から2000円に拡充し、全年齢を対象に購入費の一部を助成します。



安心・安全な移動環境をつくる

走行ビッグデータ活用事業

新規

2000万円

道路管理課

専用通信機を搭載した自動車から得られる走行ビッグデータを使い、車両の危険挙動を科学的に分析。安心・安全な道路空間の創出と、スムーズな移動環境づくりを推進します。

災害リスクを3Dで可視化

都市空間情報デジタル 基盤構築事業

新規

2523万円

都市計画課

建物や街路などの都市空間情報を3次元の地図上で再現する「3D都市モデル」を構築するとともに、災害リスク情報を3次元で可視化します。

車輪速

+

車体の各部から
データ取得

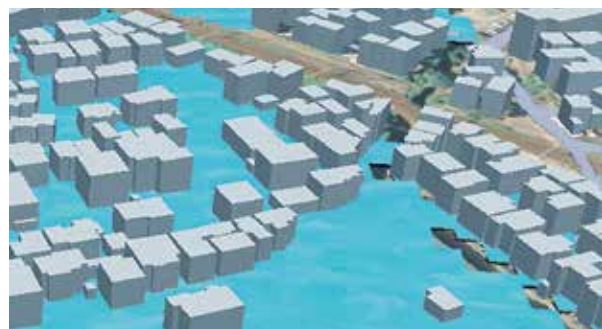
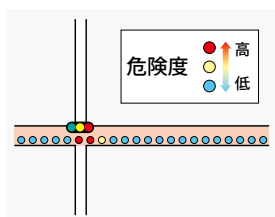
=

対策箇所把握



車輪センサーから
データ取得

車体の底部から
傾きなどのデータ取得



水害を想定した3D都市モデルイメージ(出典:国土交通省)

脱炭素社会を目指して

カーボンニュートラル 推進関連補助金

1億8754万円

環境政策課

市民・事業者の皆さんと一体となってカーボンニュートラルを推進するため、補助金を交付します。

● 自家消費型太陽光発電等導入費補助金

事業所の自家消費型太陽光発電システムや蓄電池システムの設置促進のため、PPAなどによる設備導入の費用を補助

● 省エネ住宅導入促進補助金

ゼロ・エネルギー・ハウスやLCCM住宅など、環境性能の高い省エネ住宅の他、既存住宅の断熱窓への改修費用を補助

● 電気自動車推進事業費補助金

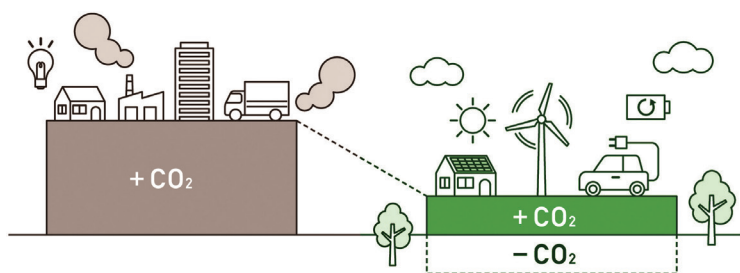
電気自動車の購入や集合住宅への電気自動車充電器導入などの費用を補助

● 住宅省エネ設備導入促進補助金

太陽光発電・蓄電池システムなどの省エネ設備導入の費用を補助



厚木市は、国の脱炭素重点対策実施地域に選定されています。



今年度オープン予定

ふれあいプラザ 再整備事業

32億2746万円

環境事業課

PFIにより施設建設・管理運営（12月オープン予定）を実施し、新ごみ中間処理施設とふれあいプラザをつなぐ熱導管や自営線敷設工事を施工します。

● ふれあいプラザの新機能

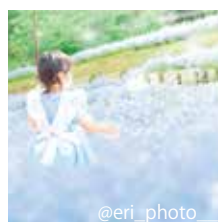
- ・多世代で交流できる「足湯」を設置
- ・災害時の入浴を支援する温浴施設
- ・流れるプールを設置



みんなに届け厚木愛



Spring



Autumn

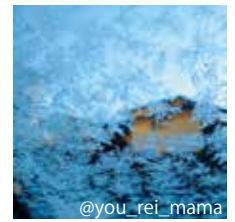


厚木で過ごした素敵な時間をSNSに投稿するハッシュタグ「#niceatsugi」。投稿の中から、毎月大賞を選んでいきます。選ばれた作品の一部を紹介します

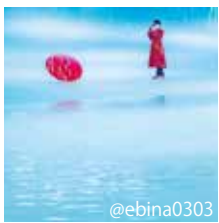
niceatsugi



Summer



Winter





niceatsugi

厚木市公式SNS

instagram



twitter



LINE



YouTube

